

AISIN

アイシングループ

仕入先 サステナビリティガイドライン

I. はじめに

近年、気候変動の深刻化や国際化、高度情報化など企業を取り巻く環境は複雑化・多様化しています。このような環境変化の中、「持続可能な開発目標(SDGs)」が国連で提唱され、企業には経済成長と社会的課題の解決に貢献することが求められています。

これまで私たちは、企業としての持続的な成長に向け社会的責任を果たしていくための行動規範として2010年1月に「アイシングループ企業行動憲章」を制定し、以来アイシングループに属する一人ひとりが同憲章の精神の実現に向けて取り組んでおります。

また同憲章は、重要なパートナーである仕入先様とも共有し、その精神の浸透と実践をお願いしてまいりました。

昨今、カーボンニュートラルの達成に向けた取り組みや人権・労働問題の未然防止など、サプライチェーン全体での課題解決がより一層求められております。こうした背景を受け、これまでも皆様と共有し取り組んでまいりました私たちの考えをより明確にし、社会に対しても示すべく、仕入先様向けの「サステナビリティガイドライン」として発行することといたしました。

仕入先の皆様におかれましては、当ガイドラインの趣旨を十分にご理解いただき、各社様で実践していただくと共に、皆様のお取引先様に対しても当ガイドラインの趣旨をご展開いただき、浸透をお願いしていただきたいと思います。

2021年9月
株式会社アイシン
グループ調達本部
本部長

七原 弘晃

II. 環境変化への対応

■ アイシングループにおける優先課題

アイシングループは「“移動”に感動を、未来に笑顔を。」を経営理念に掲げ、より安全・快適・便利なモビリティを創造し、お客様の期待を超える新しい価値を生み出します。誰もが安心して暮らせる社会のために、モビリティの電動化やエネルギーを有効活用したクリーンパワーを通じて、より良い環境づくりに貢献します。このような価値観は、国連の「持続可能な開発目標（SDGs）」と親和性が高く、事業活動を通じてその達成に貢献できると考え、グループとして注力する7つの優先課題（マテリアリティ）を選定し、取り組んでいます。

このような取り組みを通じて、より大きく進化した価値を社会に提供し、事業を通じてSDGsの達成に貢献したいと考えています。



■ カーボンニュートラル(CN)への対応

地球温暖化対策の新しい枠組みとして合意された「パリ協定」を契機に、環境課題への関心がますます高まる中、カーボンニュートラルに対する世の中の要請は急速に高まりを見せています。

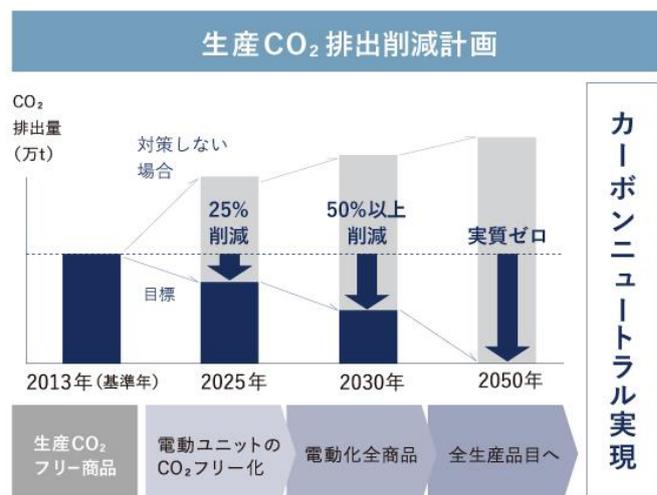
アイシングループでは、グループ経営理念に掲げた「未来地球に美しさを運び続ける」の早期実現に向け、2050年を目標年にカーボンニュートラルの達成をめざすことを宣言しました。

2030年（度）をマイルストーンとしためざす姿では、原材料等の調達から生産・販売・使用・廃棄まで含めたライフサイクル全体で発生するCO₂を25%以上削減する目標値を設定しています。

なかでも、生産活動由来のCO₂排出量については2013年を基準年とし、50%以上削減する目標値を設定し、その達成に向けて、カーボンニュートラル戦略、電動化戦略を明確に描き、全社一丸となって活動を推進していきます。

これらの目標達成に向け、2021年度には、社長直下に推進センターを新設するとともに、CN関連活動を全て集約し、「アイシングループ全体のCN戦略の立案、再生エネルギーの導入や調達」「生産CO₂削減に向けたテーマの積み上げと実行」「社外との連携を通じた技術開発や事業化」などを、強力に推進してまいります。

■ 生産CO₂実質ゼロへのロードマップ



Ⅲ. アイシングループの経営理念

アイシングループは、「"移動"に感動を、未来に笑顔を。」を経営理念として掲げ、夢と志をもって自ら行動し、クリーンパワーによる"移動"の進化を核に環境・社会課題に具体解を示し、誰もが安心・快適な未来を創っていくことを目指しています。この理念に基づいた事業活動を仕入先様の皆様とも一緒に進めることで、持続可能な社会、美しい未来地球の実現につなげたいと考えています。

アイシングループ経営理念

“移動”に感動を、未来に笑顔を。



使命 Mission

私たちは、“移動”に自由と喜びを、未来地球に美しさを運び続けます。

めざす姿 Vision

私たちは、夢と志をもって自ら行動し、クリーンパワーによる“移動”の進化を核に環境・社会課題に具体解を示し誰もが安心・快適な未来を創ります。

提供価値 Value

成長と幸せを働く仲間へ

多様な個性を尊重し、挑戦する企業風土の中で、社会貢献を胸に自ら考えて行動し、自己の成長と働きがい、人生の幸せを感じられる会社になります。

安心と感動をお客様へ

より安全・快適・便利なモビリティを創造し、“移動”の喜び・感動を届け、お客様の期待を超える新しい価値を生み出します。

持続可能な環境を未来へ

自然と調和し、誰もが安心して暮らせる社会のために、モビリティの電動化やエネルギーを有効活用したクリーンパワーを通じて、より良い環境づくりに貢献します。

IV. アイシングループ 調達基本方針

当社の調達に関する基本方針は以下のとおりです。

1. 相互信頼による相互発展

当社はサプライヤーと、共存共栄の考えで、さまざまな活動を通じて相互に発展を図っていきたくと考えています。そのためには、双方向のコミュニケーションを促進して、信頼関係を築くことが重要であると考えています。

2. オープンで公正な競争

当社とのお取引を希望される方々に対して、国籍・企業規模・これまでの取引実績の有無を問わず、オープンで公正な取引の機会を提供しています。

サプライヤーの選定にあたっては、品質・技術・コスト・納期に加え、安定性・改善に取り組む姿勢等、さまざまな視点から総合的に勘案しています。

3. グリーン調達の推進

当社は環境に配慮した企業から、環境にやさしい部品・原材料・資材の調達をこころがけ、サプライヤーと連携した環境保全の向上をめざしています。

4. 良き企業市民をめざした現地化の推進

当社は全世界のお客様から期待される企業をめざすとともに、良き企業市民として豊かな社会づくりに貢献していきたいと考えています。そのため企業活動の場を広く世界に求め、地元の企業として現地化に積極的に取り組んでいます。

5. 法の遵守

調達活動にあたっては、関連する法規を遵守しています。

また、お取引を通じて知り得た機密情報の取扱いについても十分な注意を払っています。

V. アイシングループ 仕入先サステナビリティガイドライン

■ ガイドラインのねらい

このガイドラインは、アイシングループが事業活動を通じて持続可能な社会を実現することを目指し、仕入先様の皆様とのお取引を通じて共に取り組みたいと考える基本的な事項を示しています。仕入先の皆様には、各項目についてご理解いただき、当ガイドラインに即した企業行動をお願いするとともに、各社様のお取引先様へも展開いただき、浸透活動を実施いただくことを期待します。

■ アイシングループにおけるサステナビリティ優先課題と当ガイドライン項目との関連

アイシングループにおけるサステナビリティ優先課題と目指す姿		当ガイドライン 関連項目
優先課題	2030年 目指す姿	
<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化防止 交通事故低減 安全な移動・輸送手段の提供 	<p>より地球や人にやさしいモビリティ社会づくり</p> <p>エネルギー使用量の削減やクリーンエネルギーの活用、更に安全・快適な移動手段の提供を通じ、より地球や人に優しいモビリティ社会づくりに貢献</p>	1.安全・品質・持続可能な社会への貢献
<ul style="list-style-type: none"> クリーンエネルギー転換の推進 健康と福祉の推進 	<p>より良い暮らしと環境に配慮した街づくり</p> <p>クリーンで高効率なエネルギー関連商品の普及や快適な住生活空間の提供を通じ、より良い暮らしと環境に配慮した街づくりに貢献</p>	1.安全・品質・持続可能な社会への貢献 6.環境
<ul style="list-style-type: none"> 技術革新による持続可能な産業化の促進 CO2 排出削減 汚染防止 環境負荷物質削減 資源循環 資源効率の改善 	<p>豊かで持続可能な社会づくりと、循環型社会への移行</p> <ul style="list-style-type: none"> 未来に目を向けた研究開発による新たな価値の提供を通じ、豊かで持続可能な社会づくりに貢献 地球環境への負荷「ゼロ」を目指した取り組みの推進により、循環型社会への移行に貢献 	1.安全・品質・持続可能な社会への貢献 6.環境 7.社会参画と発展への貢献
<ul style="list-style-type: none"> 労働安全衛生 健康 人権保護 多様性の促進 働き方改革 ワークライフバランス コンプライアンス 持続可能な調達 	<p>多様な人材が生き生きと安心して働ける職場環境づくり</p> <p>サプライチェーン全体を視野に入れ、多様な人材が生き生きと安心して働ける職場環境の確保を目指した取り組みの推進</p>	2.コンプライアンス 3.情報開示・コミュニケーション 4.人権の尊重 5.多様な働き方の実現・職場環境の充実 8.危機管理の徹底

■ ガイドライン

1. 安全・品質・持続可能な社会への貢献

(1)商品・サービスの社会的有用性

・社会ニーズを正しく把握し、顧客・消費者に受け入れられる品質・コストを追求した、有益な商品・サービスを提供する。

(2)商品・サービスの安全性

・安全性に十分配慮して、商品・サービスを開発・生産し、提供する。

(3)適切で分かりやすい情報の提供

・顧客の商品やサービスの合理的な選択に寄与するため、適切な情報を分かりやすく提供する。

(4)新しい技術、新しい商品の開発

・新技術、新商品の開発に努め、優れた商品・サービスを顧客・消費者に提供する。

(5)新技術、新商品の開発力の維持・向上のために

・新技術、新商品の開発力を維持・向上させるため、創造力の豊かな人材の育成、自由闊達な企業風土の醸成に努める。

(6)世界各国の安全規制の遵守等

・有用な商品・サービスを安全性に配慮して開発・提供するため、世界各国の法規を遵守するとともに、背景とな各国の社会、文化等の理解に努める。

2.コンプライアンス

(1)一人ひとりの遵法意識

・企業倫理の徹底に努め、経営トップから従業員一人ひとりに至るまで、強い遵法意識を持つと同時に、社会的良識を踏まえた行動を取るよう努める。

(2)オープンで誠実な行動

・違法な行動、不当な手段による利益の追求や、国際社会に説明のできないような不透明な行動をとらない。
・各国・各地域の法令、社会的規範、商慣習を遵守し、特に私的独占、不当な取引制限（カルテル、入札談合等）、不公正な取引方法、優越的地位の濫用、企業結合手続きの遵守等、各国、各地域の競争法に違反する行為を行わない。

(3)健全な職場風土づくり

・職場における不正行為を許さない事はもとより、一人ひとりが尊重され、不正が起こりづらい風通しの良い職場づくりに努める。

(4) 調達取引

- ・調達取引は、国内外に開放され公正で理解されやすい手続きにより実施するとともに、良きビジネスパートナーとして共存共栄を目指し、サプライチェーン全体で社会的課題の解決に努める。
- ・人権問題を引き起こす原因となりうる原材料（※）の使用回避に向けた施策を行う。
※例：コンゴ民主共和国およびその周辺諸国から産出され、かつ同地域の武装勢力の活動資金となっている鉱物をはじめ、児童労働や搾取が横行する地域や団体にて採掘される鉱物資源など

(5) 腐敗行為の禁止

- ・政治や行政との癒着を疑われるような行動を無くし、健全な官民の関係を構築し、贈賄など違法な行為を行わない。
- ・不当な利益・優遇措置の取得・維持を目的に、顧客・調達先・その他ビジネスパートナーに対して、接待・贈答金品その他の利益の授受・供与は行わない。

(6) 情報の管理と保護等

- ・お客様・第三者・自社社員の個人情報及び機密情報の適切な入手・利用・開示・管理・保護に取り組み、個人情報保護法や不正競争防止法、インサイダー取引規制等を遵守する。

(7) 知的財産の保護

- ・自社の保有する知的財産を守るとともに、他人の知的財産を尊重する。

(8) 反社会的勢力への対応

- ・反社会的勢力、団体に対しては毅然とした態度で臨み、それらの勢力、団体との関係を決して持たない。

(9) 輸出入取引管理

- ・各国・各地域の法令等で規制される技術や物品を輸出入する際は、適切な輸出入手続き・管理を行う。

(10) 利益相反の禁止

- ・自社の利益に反して、個人・顧客・取引先または第三者の利益を図る行為を行わない。

◆アイシングループのコンプライアンスに関する方針について

アイシングループでは、会社トップおよび従業員を対象に「腐敗防止」「独占禁止法遵守」に関して以下の方針を定め、一人一人の適正な行動を求めています。

仕入先の皆様におかれましても、適切な企業行動の実践に向け当方針を参考にしてください。

腐敗防止方針

https://www.aisin.com/jp/sustainability/governance/corruption_policy/

独占禁止法遵守方針

https://www.aisin.com/jp/sustainability/governance/antitrust_policy/

3. 情報開示・コミュニケーション

(1) 適時・適切な情報開示

- ・財務状況、業績、事業活動の内容等企業経営全般にわたり、ステークホルダーが真に必要としている情報を適時・適切に開示するとともに、ステークホルダーと積極的かつ建設的なコミュニケーションを行い健全な関係の維持・発展に努める。

4. 人権の尊重

(1) 人格・人権の尊重

- ・国際的に認められた人権を理解するとともに、各国・各地域の法令・労働慣習を踏まえつつ、事業活動に関わるあらゆる人々の人権を尊重する。

(2) 公正採用

- ・就職機会の均等確保や基本的人権を尊重した公正な採用選考の意識付け・実践に努める。

(3) 強制労働・児童労働および人身売買の禁止

- ・各国・各地域の法令を遵守し、いかなる形であれ、強制労働・児童労働および人身売買は行わない。

◆アイシングループの人権に関する方針について

アイシングループでは、「国連ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、グローバルに事業を展開する企業として国際的に認められた人権を尊重し、活動を行う国の関連法令の遵守を徹底すべく、以下の通り「アイシングループ 人権方針」を定めています。

仕入先様を含む全てのビジネスパートナーの皆様にも、本方針を理解し、支持していただくことを期待します。

アイシングループ 人権方針

<https://www.aisin.com/jp/sustainability/social/employee/respect/>

5. 多様な働き方の実現・職場環境の充実

(1) 多様な働き方の実現

- ・多様な従業員が「社会的な存在」として自己を確立し、最大限に能力を発揮できるよう、人事・処遇制度の充実に努める。

(2) 従業員のキャリア形成・能力開発支援

- ・従業員の個性を尊重し、個人の能力をいかに発揮できるよう、キャリア形成や能力開発を支援する。

(3)安全・快適な職場環境の実現

- ・従業員がもてる力を発揮できるよう、従業員の安全および心とからだの健康に配慮した快適な職場環境を実現し、従業員の健康づくりを支援する。
- ・職場におけるハラスメントを許さない。ハラスメントの苦情に対しては、直ちに調査や報告を行い、真摯な対応を行うとともに、健全で活気あふれる職場風土の醸成に努める。

(4)労働時間・賃金給付に関する法令の遵守

- ・国・各地域の法令を遵守し、労働時間管理や賃金給付を適切に行なう。

(5)労使間の誠実な対話と協議

- ・労働組合など従業員の代表もしくは従業員との誠実な対話と協議を通じ、お互いに繁栄するよう共に努力する。
- ・従業員が自由に結社する権利または結社しない権利を各 国・各地域の法令等に基づいて認める。

6. 環境

(1) アイシングループ グリーン調達ガイドラインの遵守

- ・アイシングループが発行するグリーン調達ガイドラインの主旨を理解し、遵守する。

◆アイシングループ グリーン調達ガイドライン

https://www.aisin.com/jp/pdf/green_guideline.pdf

仕入先様への主なお願い事項

- ・環境関連の法規制・条例の遵守
- ・環境マネジメント
- ・環境負荷物質管理
- ・パフォーマンス向上
- ・環境データの報告

(2)カーボンニュートラルへの積極的な取り組み

- ・2050年カーボンニュートラルの達成に向け、生産をはじめとする事業活動全般を通じ投入エネルギーの削減、再生可能エネルギーの活用を積極的に推進する。

7. 社会参画と発展への貢献

(1)各国・各地域社会との相互信頼を目指して

- ・世界各国・各地域社会の文化や伝統などを尊重し、地域社会、ステークホルダーとの相互信頼に努める。
- ・N P O、地域社会、行政等、幅広いステークホルダーと連携し持続可能な社会の実現に向け、取り組む。

8.危機管理の徹底

(1)リスクマネジメント

- ・緊急事態の発生を未然に防止、もしくは発生した場合の損害を最小限に抑えるために、危機管理のしくみを構築・運用する。

(2)情報セキュリティの確保

- ・機密情報漏洩の発生を未然に防止、もしくは発生した場合の損害を最小限に抑えるために、情報セキュリティ確保のためのしくみを構築・運用する。

■取引先への展開

- ・取引先に対しても、上記の主旨をふまえた方針やガイドラインを展開し、周知徹底いただくとともに、サステナビリティへの取り組みの浸透・普及に努めていただきますようお願いします。
- ・浸透・普及にあたっては、サプライチェーン全体を意識し、必要に応じフォロー、是正を行ってください。



アイシングループ 仕入先サステナビリティガイドライン
2021年 9月30日 初版発行

<発行者・お問い合わせ先>
株式会社アイシン
グループ調達本部 調達統括部